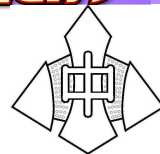


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年5月21日（金）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

“生徒自治”をめざして… 前期生徒会総会

5月20日（木）には、今年度の生徒会活動の活動目標や計画、予算を審議する「前期生徒会総会」が行われました。1年生にとっては初めての総会になりました。生徒の君たち自身もこれから直接的・間接的にかかわるであろう国や都道府県・市町村の政治の世界で行われている「議会」や社会の様々な組織の中で行われている「総会」の事前学習の意味もあります。総会の意味や内容・進め方は理解できたでしょうか。ノー原稿による説明や理路整然とした分かりやすい応答が随所に見られました。提案型の素晴らしい質問も目を引きました。聞く側の態度も立派でした。教頭先生からの講評にあったように、自ら考え、自ら行動していく“生徒自治”（せいとじ）の実現をめざしてください。

最後に、会の準備・運営等に当たってくれた本部役員、専門委員長、部活動部長、そして、議長を務めた3年伊野さん、古川君に感謝します。ご苦労さまでした。



本部・専門委員会・部活動の活動目標です！

生徒会本部役員			生徒会本部の目標
会長：伊藤壺太郎 副会長：佐々木悠人 〃：古川明花	書記：橋井はるか 〃：大原寧々 〃：吉田里桜	会計：伊藤由衣 〃：凌りくな 〃：佐藤善生	一人一人が小原田中の生徒である自覚を持ち、本校の良き伝統を受け継ぐとともに、自主的に行動できる学校になるように全校生で団結して学校づくりに取り組む。
専門委員会	委員長	専門委員会の活動目標や特に力を入れて取り組むこと	
学習委員会	佐賀春空	昨年の課題である定期テストの予想問題の提出期限を意識し、一人一人が活動の意味を理解しながら全校生徒の学力向上に向けて責任をもって取り組む。	
保健委員会	上野彩美	マスクの着用や換気など保健委員が積極的に呼びかけ、全校生が健康に学校生活を送れるようにする。	
清掃委員会	錦 爽加	“自問清掃”を徹底するとともに、感染症対策を踏まえたポスターを作成する。	
体育委員会	阿部康生	一人一人が体育委員としての自覚をもって仕事（教科員としての仕事、ボールの空気入れ、体育祭の運営、雪かきなど）に取り組む。	
新聞委員会	瀧田青空	前年度より読みやすさや見やすさを重視して、クラス独特のオリジナリティーあふれる新聞を作成する。	
視聴覚委員会	熊田紅彩	小原田中学校のアナウンサーとしての責任・自覚をもって放送をする。休み時間に換気を促す放送を行い、感染症防止に取り組む。	
図書委員会	古川里咲	カウンター当番等の役割を忘れずに仕事に責任を持ち、呼びかけを頑張る。図書館利用者への感染症対策を徹底する。	
JRCベルマーク委員会	増子大夢	キャップ、ベルマーク収集のための呼びかけを積極的にするとともに、委員自身が率先して持ってくるようにする。	
給食委員会	泉 涌貴	委員会の仕事を責任を持って行い、給食川柳などを通して小原田中の給食の残菜を減らすための努力をする。	
週番委員会	夏井明日菜	“明るい”挨拶が飛び交う学校になるように挨拶運動に力を入れるとともに、手洗い・うがいやマスク着用などの感染症対策を徹底させるように呼びかける。	
応援団	蓮田翔空	心を込めた応援、応援された選手が感動できるような応援、全校生一丸となった応援ができるようにする。	

各部活動の部長と活動目標

- 【野 球 部】 伊藤吉太郎 「中体連全国大会出場」
 【サッカー部】 高野航陽 「技術向上と協調性のある部活を目指す」
 【男子ソフトテニス部】 浦山夏樹 「県大会ベスト8」
 【女子ソフトテニス部】 松坂梨瑚 「県大会団体・個人全ペア出場」
 【バレーボール部】 安保遥菜 「一人一人の技術の向上と大きい声を出して一生懸命練習する」
 【男子バスケットボール部】 七海健太郎 「大会の勝利、人としての成長」
 【女子バスケットボール部】 伊東さくら 「気持ちを高め合い、団結力を強くする」
 【男子卓球部】 吉田大河 「団体県大会出場！」
 【女子卓球部】 宗像希未 「県中大会を目指し、互いを高め合いながら練習する」
 【剣 道 部】 長尾悠生 「県中大会に出場できるよう真面目に練習に取り組む」
 【美 術 部】 熊田紅彩 「他学年との交流を深め、けじめのある活動をする」
 【パソコン部】 吉田輝明 「紹介新聞の作成を重ねて、それぞれのパソコン技術の向上を目指す」
 【吹奏楽部】 鈴木遼介 「納得がいく演奏ができるための練習をし、県南支部大会で金賞を目指す」



具体的に動くことが大事！

総会の挨拶で読み上げた相田みつをさんの詩です。今回は“具体的に動く”ということを中心に留めてください。
 まずは①自分たちの今の活動をよく見つめてみることに、次に②状況を改善するためには、具体的に何を、いつ、どのように行うのかをはっきりさせること、そして、③役割分担を明確にして、見通しを持って動き始めること、これが“いま、ここ、の、具体的な一歩”になると思います。生徒会活動（専門委員会活動）、部活動はもちろん、君たち自身の生活や学習にもつながる大切な考え方です。

歩幅に多少の差はあるけれど
 一回に出せる足は
 だれでも一歩だ
 一回に五歩も十歩も
 出すわけにはゆかぬ

いま、ここ、の、一歩を
 具体的に、しかも確実に出すことだ
 この小さな一歩の連続が
 富士山へもヒマラヤへも
 つづくんだから

その反対
 ぼんやり過ごす一日
 いいわけとぐちで
 過ごす一日
 その連続で日がくれる
 そういう人生もあるからな

一歩が大事
 どんなに小さくても
 いま、ここ、の、
 具体的な一歩が大事
 ～相田みつを「我が子へ」～

新しい職員を紹介します！

配膳員：高橋 紀子さん

ご退職された濱津たか子さんに代わって、5月6日から配膳員として勤務しています高橋さんです。

5月より給食配膳員として勤務しております。牛乳や給食センターから届いたおかず、食器、食缶などをクラス別に配置したり、給食後には一緒に後片付けをしています。配膳員として、皆さんにとって大切な給食を安心して気持ちよく食べてもらえるよう、衛生面・安全面を常に心がけて日々の業務にあたっています。参りたいと思います。よろしくお願い致します。



SSS：色川 千尋さん

福島県の新型コロナウイルス感染症対策として各学校に配置されるスクール・サポート・スタッフ（SSS）として、5月12日より勤務しています色川さんです。校内の消毒作業や印刷・配付などの教員の補助を行っています。なお、色川さんの勤務は令和4年2月までとなります。

コロナ渦において、生徒の皆さんが安心して学校に通えるよう、陰から精一杯サポートしていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



2名とも学校現場での勤務は初めてのことですが、ともに学校運営上とても大切な業務を担ってもらうこととなります。我々教職員の新しい仲間として、互いに協力し合いながら仕事を進めていきたいと思っております。生徒のみんなも気軽に声をかけください。よろしくお願いします。